

Business Report

[第89期 報告書]

2017.4.1-2018.3.31

P.01-04 トップインタビュー

2017年度決算で過去最高の業績を記録。
中期経営計画のもと蓄えてきた有形・無形の資産を強みに
業界のリーディングカンパニーであり続けます。

P.05-06 トピックス

P.07-08 連結財務情報

P.09-10 知っておきたい豆知識・会社概要

すべてはホスピタリティから。



2017年度決算で過去最高の業績を記録。
中期経営計画のもと蓄えてきた有形・無形の資産を強みに
業界のリーディングカンパニーであり続けます。

代表取締役社長 野呂 裕一



サービスの標準化や品質向上が シェアの拡大を後押し

当社グループの「中期経営計画(2016年度~2018年度)」2年目にあたる2017年度(平成30年3月期)の決算(連結)は、初年度に引き続き増収増益とすることができました。少子化や葬儀の小規模化を背景に競合他社が苦戦するなか、営業収益及び営業利益、経営利益、当期純利益のいずれも過去最高の業績をご報告することができた背景には、中期経営計画に基づいて当社グループが蓄えてきた有形・無形の資産がありました。

なかでも当計画における重点課題の一つ「サービス品質

向上への体制強化と仕組みの構築」は他社を寄せつけない当社グループ独自の無形資産であると言えるでしょう。2015年度に首都圏からスタートさせたベストサービス委員会を中心に、スタッフ全員が地道に取り組み続けてきた活動の結果が、ここにきて目に見える成果を出し始めています。

たとえば、公益社では日頃お客様と接するなかでお客様が真に求めていることを反映した「ベストサービス基準」を独自に策定し、その基準を継続的に実行できる体制・仕組みを導入しています。会社としての基準が実際守られているのかどうかの確認を徹底するため、管理職が通夜、葬儀・告別式に出席し、課題の発見・品質チェックを実施し、その結果をスタッフにフィードバックしています。また、アンケートを通じてお客様のご意見をお聞かせいただき、満足度の確認や問題点の抽出に努める一方で、至らない点は、必ず対処して改善につなげています。

このようにサービスの標準化及びサービス品質の向上に努めた結果、公益社は東京、大阪ともにお客様アンケートにおける満足度評価が以前よりもさらに高水準となっています。なかにはスタッフを名指しでお褒めいただいたお手紙が届くこともあり、また、心からご満足いただき知人友人をご紹介くださることも少なくありません。お客様に評価され、認められること

で、各エリアにおける葬儀施行件数が死亡者数の増加を上回る伸びとなり、結果としてシェアの拡大につながっています。

リスクを軽減し、さらなる飛躍をめざす 新規事業創出への本格的取組み

グループの事業ポートフォリオのリスクを軽減し、中長期間にわたる継続安定成長を実現するため、2016年4月、燦ホールディングスに「新規事業開発部」を設置。これまでに二つの新規事業を創出しています。

まずは2016年10月、グループ会社であるエクセル・サポート・サービスの飲食事業の多角化としてラーメン店「うまい麺には福来たる」の直営事業をスタートさせ、現在は西大橋店(大阪市西区)および西中島店(大阪市淀川区)の2店舗を運営しています。2017年に入ってからメディアに取り上げられる機会も増え、食のイベントやラーメンイベントにも積極的に出店するなどの効果により、来店者数も着実に増えています。2017年度上期からは1号店および2号店における商品の改善・開発、オペレーションの効率化とコストコントロールの改善等にも力を入れたことで黒字化しつつあり、さらにコストコントロールの改善と集客に注力してまいります。同時に、

3号店の出店を2018年度中に実施する予定です。

2017年3月には、同じくエクセル・サポート・サービスが、リハビリ特化型デイサービスなどの介護事業を展開するJR西日本グループのポシブル医科学株式会社様とフランチャイズチェーンへの加盟に関する基本合意書を締結し、介護事業に参入しました。2018年1月には、リハビリ特化型デイサービス施設「ポシブル箕面牧落」(大阪府箕面市)を開設し、箕面市に加えて隣接する豊中市、池田市の一部を送迎エリアとして半日型のリハビリ特化型デイサービスを提供しています。

ポシブル医科学株式会社との支援・指導のもと、一般的な預かり機能に特化したデイサービス(通所介護)にはない各種運動器具やリハビリ機器を導入し、専門職による利用者に合った機能訓練プログラムを用意することで差別化を図っています。今後さらに大阪府北部および阪神地域において順次開設し、地域の要支援・要介護の方々の運動機能と生活の質の向上に貢献できるように努めていきます。なお、第2号施設の開設は2018年度上期中の予定です。

このほかにも、低投資・低固定費型の事業、既存の経営資源や強みを活用することによりシナジーが得られる事業を新規事業の要件とし、現在、複数の事業候補案件について調査・検討を進め、新たな収益の柱となる事業の創出をめざしています。

立地と投資対効果を重視し 住民の理解のもと営業エリアを拡大

中期経営計画において、当社グループでは2018年度までの3年間に17の新規会館開設を掲げてきました。1年目に6会館(公益社首都圏1、公益社近畿圏4、タルイ1)を開設し、営業エリアの拡大スピードを加速させましたが、2年目は2017年8月にオープンした「公益社 東久留米会館」(東京都東久留米市)1会館のみにとどまりました。特に首都圏においては、アクセスの利便性等を重視した立地選びは困難を極めるうえ、立地が決まった案件も、行政の要請による地域住民との調整に時間がかかっており、着工に遅れが生じています。そこで、計画を12会館の計画に変更。地域密着型の会館として住民の方にご理解いただく努力を怠らず、立地と投資対効果を重視しながら、中期経営計画最終年である2018年度は新規会館5会館の開設をめざします。

二方向からの基盤整備の完遂により 収益力を強化

2014年から着手した築年数の経過した大規模会館の

リニューアルは、2017年8月の「公益社 枚方会館」建替えオープンをもって完了しました。「公益社 天神橋会館」(2015年6月)、「公益社 西宮山手会館」(2016年8月)と併せて三つの大規模会館の建替えリニューアルにより、これまで以上に多くのお客様にご利用いただいております。同時に事業所や事務所の移転・集約を含む外部支払コストの削減、資産の有効活用によって利益改善の効果が2016年1月から徐々に始まり、2018年度からはさらなる効果を見込んでいます。

もう一つの「基盤整備の完遂」として掲げる葬儀およびタライの収益力の改善については、タライが2017年度、葬儀施行件数の増加に加えて、葬儀単価が向上し、収益力を改善させています。2013年度から公益社と連携運営体制のもと様々な施策に取り組み、2015年度以降に取り組んだマーケティングの強化も功を奏しました。

葬儀は、中核会館である「葬儀 米子葬祭会館」を2016年8月に全面改装オープンし、マーケティングも強化してきましたが、エリア全体では前期に比べて葬儀施行件数が減少しました。引き続き各エリアにおける地域推進活動とマーケティング強化を進めてまいります。

お客様に寄り添うスタッフの思いを資産に 継続安定成長をめざす

少子高齢化を背景に、年々、亡くられる方や喪主になられる方の葬儀に対する考え方は変化しており、価値観も多様化しています。ここ数年の顕著な特徴の一つである葬儀の小規模化は今後も続くものと考えられます。こうした時代だからこそ、誰のために、何の事業をしているのか、今一度初心にかえり、当社グループの理念に基づき故人の尊厳を守り、残されたご家族が安心して葬儀を行うことができるサービス品質の追求に努めてまいります。

同時に、今後はご家族が葬儀の前後においてお困りの事をすべて当社グループが解決できるよう、ライフエンディングにかかわるサービスを一層強化していく方針です。

これまでも、お客様の気持ちに寄り添うことで数々の事業を進展させてきた実績があり、こうしたスタッフの思いこそが目みえない当社グループの強み、資産となっています。それがひいては継続安定成長を実現し、企業価値および株主価値の向上につながり、配当を中心とした株主様への還元につながると考えております。株主の皆様には変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

当社グループ初のリハビリ特化型デイサービス施設 「ポシブル 箕面牧落」を2018年1月4日にオープン

グループ子会社であるエクセル・サポート・サービスは、大阪府箕面市に、同社として初めてのリハビリ特化型デイサービス施設「ポシブル 箕面牧落」を2018年1月4日に開設いたしました。

同施設は、大阪府都心部から20km圏内に位置しながら自然に恵まれた住宅都市である箕面市に位置しており、隣接する豊中市、池田市の一部も送迎エリアとし、半日型のリハビリ特化型デイサービスを実施しております。定員は1単位約20名です。

エクセル・サポート・サービスは、2017年3月に、介護事

業を展開するJR西日本グループのポシブル医科学株式会社と、フランチャイズチェーンへの加盟に関する基本合意書を締結し、介護事業に新たに参入いたしました。

ポシブル医科学株式会社からの支援・指導のもと、一般的な預かり機能に特化した通所介護（デイサービス）にない各種運動器具やリハビリ機器を導入し、専門職による利用者に向けた機能訓練プログラムを実施することにより、多くの方の運動機能と生活の質の向上に努めています。

今後も大阪府北部地域および阪神地域において順次開設を進める予定です。

ポシブル 箕面牧落

大阪府箕面市牧落5丁目5番1号
牧落交差点すぐ
(国道171号線沿い)
・阪急箕面線「牧落」駅 南東へ
徒歩約9分



中期経営計画の数値目標の修正に関するお知らせ

2016年4月6日付で公表いたしました「グループ中期経営計画(2016年度~2018年度)」について、経営環境の変化や過去2年間の実績等をふまえ、最終年度の数値目標の修正に関するお知らせを2018年5月10日に公表いたしました。

グループの新規会館出店数(2016年度~2018年度累計)の修正理由は、主に首都圏、近畿圏での候補物件決定の遅れによるものです。

次に、新規事業の営業収益につきましては、当初、直営のラーメン店の多店舗展開を前提としていましたが、店舗物件や人材の確保における困難等により、現状2店舗の運営にとどまることによる修正です(2018年度は3店舗目の出店を予定)。

さらに、フランチャイズチェーンへの加盟により介護

事業(リハビリ特化型デイサービス事業)を開始し、2018年1月に第1号施設「ポシブル箕面牧落」を開設、運営しております。2018年度上期中には第2号施設を開設する予定です。

グループの葬儀事業の業績が当初計画より伸長しているため、営業収益については当初計画からの減収額は軽微にとどまり、経常利益は逆に、当初計画比増益となる見込みです。

2018年度(平成31年3月期)数値目標の修正

	前回発表目標	今回修正目標
グループの新規会館出店数 (2016年度~2018年度累計)	17会館	12会館 (出店済7会館、 2018年度の出店予定5会館)
新規事業の営業収益 (2018年度)	4.2億円	1.3億円 (内訳：ラーメン店事業 1.1億円、 介護事業 0.2億円)
営業収益 (2018年度)	202億円	201億円
経常利益 (2018年度)	19.4億円	23.0億円

ご参考 グループ中期経営計画(2016年度~2018年度)重点課題

①サービス品質向上への体制強化と仕組みの構築	「現場力」の強化によるサービス品質向上により、ブランド力の向上を図ることで競争優位性を保つ
②葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大	東西の大都市圏を中心に、積極的なドミナント出店による営業エリアの拡大を目指す
③ライフエンディングサポート事業の伸長	ご遺族をサポートする範囲を拡大し、顧客満足と顧客単価の向上を図る
④新規事業創出への本格的取組み	グループの事業ポートフォリオのリスクを軽減し、中長期的に継続安定成長を実現するため、新たな収益の柱となる事業を求めて、新規事業にチャレンジする
⑤基盤整備の完遂	大規模会館の建替えオープンと案件全体の完遂により、会館施設の競争力の強化および外部支払コストの削減を実現するグループ会社である葬仙およびタルイの収益力の改善を図る
⑥リスクマネジメントの強化	リスクマネジメントを強化し、会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図る

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
〔資産の部〕		
流動資産	3,908	6,038
● 現金及び預金	2,612	4,781
営業未収入金	601	618
商品及び製品	94	94
繰延税金資産	230	339
その他	368	204
固定資産	24,052	24,122
● 有形固定資産	21,809	21,889
建物及び構築物	8,451	8,842
土地	12,318	12,344
建設仮勘定	520	126
その他	518	575
無形固定資産	122	104
投資その他の資産	2,121	2,128
資産合計	27,961	30,161

現金及び預金

新規会館投資および既存会館のリニューアル投資等の資金需要に内部資金で対応したものの、営業収益の増加によって、現金及び預金が21億69百万円増加。

有形固定資産

減価償却が7億78百万円進んだものの、公益社 東久留米会館の開設および公益社 枚方会館の新築リニューアルオープン(いずれも2017年8月)、さらに今後の新設オープン予定の資産取得等により、有形固定資産が80百万円増加。

純資産

当期純利益の計上15億73百万円、剰余金の配当2億61百万円により、13億12百万円増加。自己資本比率は80.4%(前連結会計年度末に比べ1.7ポイント減)。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
〔負債の部〕		
流動負債	2,289	3,256
営業未払金	810	811
短期借入金	15	—
1年内返済予定の長期借入金	21	170
未払金	418	515
賞与引当金	401	499
その他	622	1,258
固定負債	2,727	2,649
長期借入金	1,115	945
厚生年金基金解散損失引当金	690	690
その他	921	1,013
負債合計	5,017	5,905
〔純資産の部〕		
株主資本	22,943	24,255
資本金	2,568	2,568
資本剰余金	5,488	5,488
利益剰余金	15,900	17,212
自己株式	△ 1,013	△ 1,013
純資産合計	22,943	24,255
負債純資産合計	27,961	30,161

営業収益

グループ中核の(株)公益社においては、首都圏、近畿圏ともに葬儀件数が増加し、前期比7.1%増収。(株)葬仙は葬儀件数の減少により前期比1.9%減収。(株)タレイは葬儀件数の増加および葬儀単価の上昇により前期比19.4%増収。この結果、営業収益は前期比7.5%増収。

営業利益・経常利益

直接費や新規会館出店等に伴う広告宣伝費および消耗備品費等が増加したものの、営業収益の増加により、営業利益は前期比31.6%増、経常利益は前期比28.4%増。売上高経常利益率は13.2%。

特別損失

平成30年3月「公益社 岸和田会館」(大阪府 岸和田市)の運用変更——同会館の「別館」に改修工事を施すとともに、「本館」にあった機能を別館敷地内に移転、「本館」はその後解体する——の意思決定を行い、これに伴い固定資産に係る減損損失1億86百万円を計上。

Consolidated Financial Highlights

連結業績の推移

第2四半期 期末

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 〔平成28年4月1日～ 平成29年3月31日〕	当連結会計年度 〔平成29年4月1日～ 平成30年3月31日〕
● 営業収益	18,677	20,070
営業費用	15,296	16,092
営業総利益	3,380	3,977
販売費及び一般管理費	1,361	1,319
● 営業利益	2,019	2,658
営業外収益	90	20
営業外費用	45	27
● 経常利益	2,064	2,650
特別利益	5	3
● 特別損失	42	189
税金等調整前当期純利益	2,027	2,464
法人税、住民税及び事業税	590	999
法人税等調整額	91	△ 107
親会社株主に帰属する当期純利益	1,345	1,573

連結キャッシュ・フロー計算書

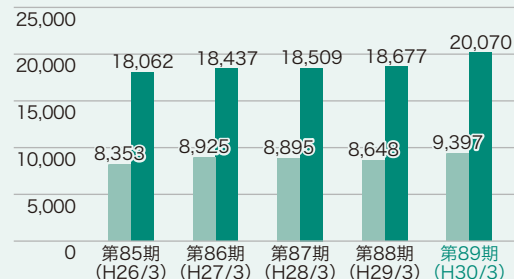
(単位:百万円)

	前連結会計年度 〔平成28年4月1日～ 平成29年3月31日〕	当連結会計年度 〔平成29年4月1日～ 平成30年3月31日〕
営業活動による キャッシュ・フロー	2,242	3,551
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,096	△ 984
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 364	△ 397
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 218	2,169
現金及び現金同等物の 期首残高	2,831	2,612
現金及び現金同等物の 期末残高	2,612	4,781

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

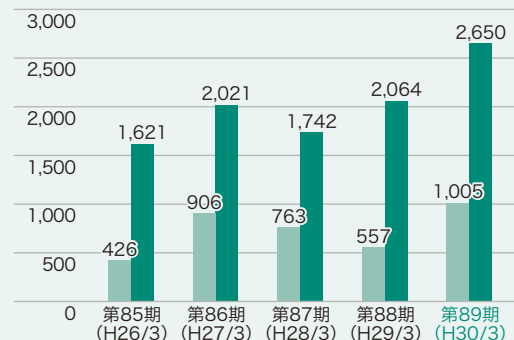
営業収益

(単位:百万円)



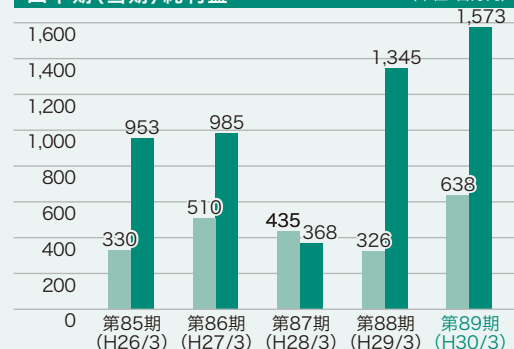
経常利益

(単位:百万円)



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



会葬礼状について

お葬式の礼状と聞いて、どんなイメージをお持ちですか。灰色の枠で囲まれた堅苦しい文章、それゆえよく読んだことがないという方も多いのではないのでしょうか。

実はこの礼状にも時代の変化があります。昭和の頃は礼状に住所を載せるのが基本形でした。しかし現在では載っていないことが珍しくありません。これには個人情報に対する意識が高

まった結果、不特定多数の手に渡る可能性のある礼状に個人情報を書けなくなったという側面と、身内だけのお葬式が増えてきたので改めて住所を伝える必要がなくなったという側面があります。

本来礼状は参列者に謝意を伝えるためのものでした。しかし最近では故人の生涯や人柄に言及したオリジナル文面の礼状が増えています。遺族が文

面を考えることもあれば、専門のライターが遺族に対して電話インタビューを行って再構成することもあります。亡くなった本人が生前にしたための文章を掲載することもあり、その礼状を受け取られた参列者の多くは形見代わりはずっと手元に置いているそうです。

もし今度お葬式に参列する機会があれば、一度よく目を通してみてはいかがでしょうか。

【葬祭施設ネットワーク】2018(平成30)年3月31日現在

公益社
(首都圏)
ご葬儀相談
センター
0120-347-556

公益社 用賀会館
公益社 高円寺会館
公益社 明大前会館
公益社 仙川会館
公益社 喜多見会館
公益社 田園調布会館
公益社 雪谷会館
公益社 高輪会館
公益社 東久留米会館
公益社 会館 たまプラーザ
公益社 日吉会館

東京都世田谷区瀬田3-6-8
東京都杉並区高円寺北2-2-5
東京都杉並区和泉2-8-6
東京都調布市仙川町3-1-3
東京都世田谷区喜多見7-25-13
東京都世田谷区東玉川2-30-9
東京都大田区南雪谷2-1-7
東京都港区高輪2-16-13 道往寺内
東京都東久留米市新川町1-3-31 **New**
横浜市青葉区美しが丘2-21-4
横浜市港北区箕輪町2-2-15

公益社
(近畿圏)
ご葬儀相談
センター
0120-567-701

公益社 天神橋会館
公益社 森小路会館
公益社 城東会館
公益社 西田辺会館
公益社 玉出会館
公益社 豊中会館
公益社 石橋会館
公益社 吹田会館
公益社 江坂会館
公益社 千里会館
公益社 千里山田会館
公益社 高槻会館
公益社 守口会館
公益社 枚方会館
公益社 正俊寺会館
公益社 くずは会館
公益社 東大阪会館
公益社 共善はびきの会館
公益社 堺会館
公益社 なかもず会館
公益社 岸和田会館
公益社 西大寺会館

大阪市北区天神橋4-6-42
大阪市旭区今市2-22-7
大阪市城東区関目1-21-20
大阪市阿倍野区阪南町5-16-1
大阪市西成区玉出西1-3-4
豊中市南桜塚1-21-4
池田市井口塚1-12-6
吹田市内本町1-21-3
吹田市豊津町16-13
吹田市桃山台5-3-10
吹田市津雲台7-6-1
高槻市野見町4-4
守口市大日町3-4-28
枚方市山之上東町1-1
枚方市長尾宮前2-2-1
枚方市楠葉並木2-13-11
東大阪市俊徳町1-6-28
羽曳野市恵我之荘3-4-25
堺市堺区宿屋町西1丁1-27
堺市北区中百舌島町2丁322-1
岸和田市上野町東5-1
奈良市二条町1-1-10



葬 仙
(山陰地方)
0120-444-200



公益社 学園前会館
公益社 富雄会館
公益社 六甲道会館
公益社 甲南山手会館
公益社 住吉御影会館
公益社 武庫之荘会館
公益社 西宮山手会館
公益社 甲子園口会館
公益社 宝塚会館

奈良市学園大和町2-110-3
奈良市富雄北1-7-7
神戸市灘区徳井町5-1-5
神戸市東灘区本庄町2-13-20
神戸市東灘区住吉宮町7-3-8
尼崎市水堂町3-18-21
西宮市城ヶ堀町1-40
西宮市中島町16-15
宝塚市小浜2-2-63

葬仙 鳥取ホール
葬仙 吉方ホール
葬仙 岩美ホール
葬仙 米子葬祭会館
葬仙 安倍ホール
葬仙 福米ホール
葬仙 境港ホール
葬仙 余子ホール
葬仙 安来ホール
葬仙 松江葬祭会館
葬仙 比津ホール
葬仙 東出雲ホール

鳥取県鳥取市商栄町171
鳥取県鳥取市吉方153-7
鳥取県岩美郡岩美町浦富645-9
鳥取県米子市長砂町1075
鳥取県米子市安倍51
鳥取県米子市新開6-3-15
鳥取県境港市上道町3588
鳥取県境港市竹内町1864-2
鳥取県安来市安来町977
鳥取県松江市東津田町1738
鳥取県松江市比津町31
鳥取県松江市東出雲町錦浜583-23

タルイ
(兵庫県南部)
0120-365-365



タルイ会館 神戸西
タルイ会館 舞子
タルイ会館 大蔵谷
タルイ会館 新明
タルイ会館 西明石
タルイ会館 大久保
タルイ会館 長坂寺
タルイ会館 魚住
タルイ会館 土山
タルイ会館 東加古川

神戸市西区玉津町出合213-1
神戸市垂水区舞子坂4-5-20
明石市大蔵町25-5
明石市新明町9-52
明石市松の内2-5-5
明石市大久保町松陰1111
明石市魚住町長坂寺75-1-1
明石市魚住町中尾345-1
明石市二見町福里549-1
加古川市平岡町一色74

全64会館(公益社42、葬仙12、タルイ10)

会社概要 2018(平成30)年3月31日現在

商号 燦ホールディングス株式会社
 本社所在地 大阪本社
 〒530-0041
 大阪市北区天神橋4丁目6番39号
 東京本社
 〒107-0062
 東京都港区南青山1丁目1番1号
 新青山ビル西館14階

創業 1932(昭和7)年8月

資本金 25億6,815万円

事業内容 持株会社事業
 不動産事業
 管理業務受託事業

グループ会社 葬祭事業
 株式会社公益社 <首都圏・近畿圏>
 株式会社葬仙 <山陰地方>
 株式会社タライ <兵庫県南部>
 葬祭関連事業およびその他の事業
 エクセル・サポート・サービス株式会社
 警備業および施設管理・清掃業・料理事業・葬祭事業
 ラーメン店事業・介護事業

役員 2018(平成30)年6月26日現在

代表取締役社長 野呂 裕一
 代表取締役副社長 播島 聡
 取締役 的羽 元司
 取締役 宮島 康子
 取締役(社外) 原田 雅俊
 取締役(社外) 末川 久幸

常勤監査役(社外) 内藤 光昭
 常勤監査役 秦 一二三
 監査役(社外) 高橋 秀彰
 監査役(社外) 田村 茂

常務執行役員 鈴江 敏一
 常務執行役員 池内 義彦
 常務執行役員 山本 浩
 常務執行役員 小林 大介

執行役員 大井 信三
 執行役員 大西 健二
 執行役員 築井 伸司
 執行役員 宮永 誠治
 執行役員 橋口 守
 執行役員 北条 崇
 執行役員 高松 英樹

経営理念 2009(平成21)年4月2日制定

私たちは、大切な人との最期のお別れを
 尊厳あるかたちでお手伝いします。

そして、それにとどまらず、
 人生のマイナスからプラスへの
 ステップを支える最良のパートナーを目指します。

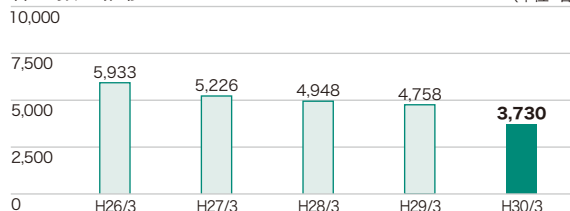
株式の状況 2018(平成30)年3月31日現在

発行可能株式総数 21,000,000株

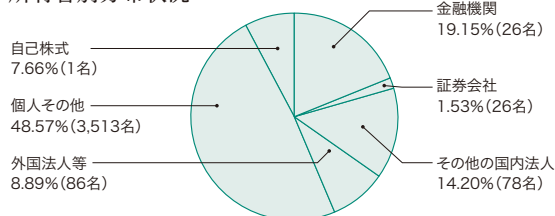
発行済株式の総数 6,082,008株

株主数の推移

(単位:名)



所有者別分布状況





<https://www.san-hd.co.jp>

当社のホームページにおきましても
IR情報および会社情報をお知らせしております。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

株主メモ

証券コード/9628
事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会/毎年6月
基準日/定時株主総会 毎年3月31日

／期末配当金 毎年3月31日
／中間配当金 毎年9月30日(その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。)

単元株式数/100株

株主名簿管理人および/〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人/〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先/〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先/☎0120-782-031

インターネットホームページURL/<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法/日本経済新聞に掲載します。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

※この冊子についてのお問い合わせは、下記IR専用電話番号までお願いいたします。

お問い合わせ先 IR担当/TEL.06-6226-0038 FAX.06-6881-3340

E-mail ir@san-hd.co.jp

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。